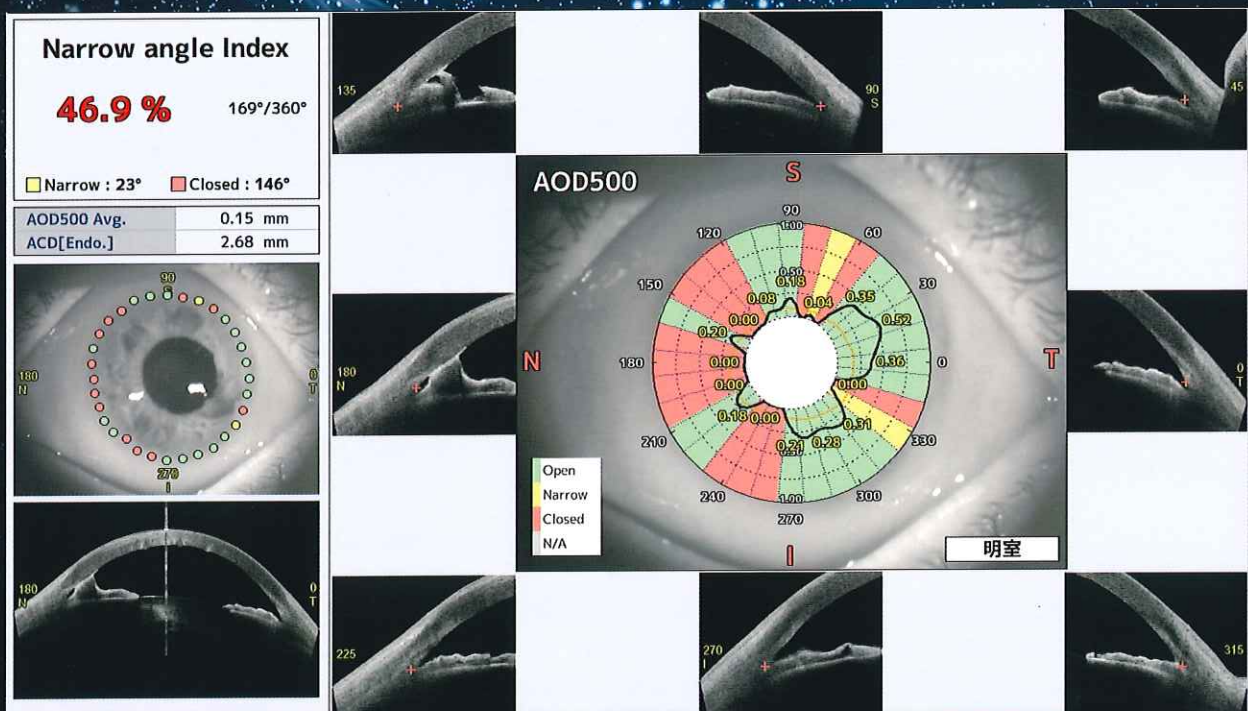


NEW

前眼部 OCT CASIA2 Advance

緑内障向けアプリケーション

STAR Analysis



緑内障向けアプリケーション STAR Analysis

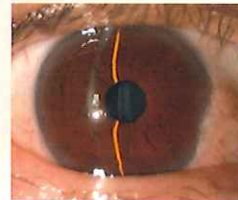
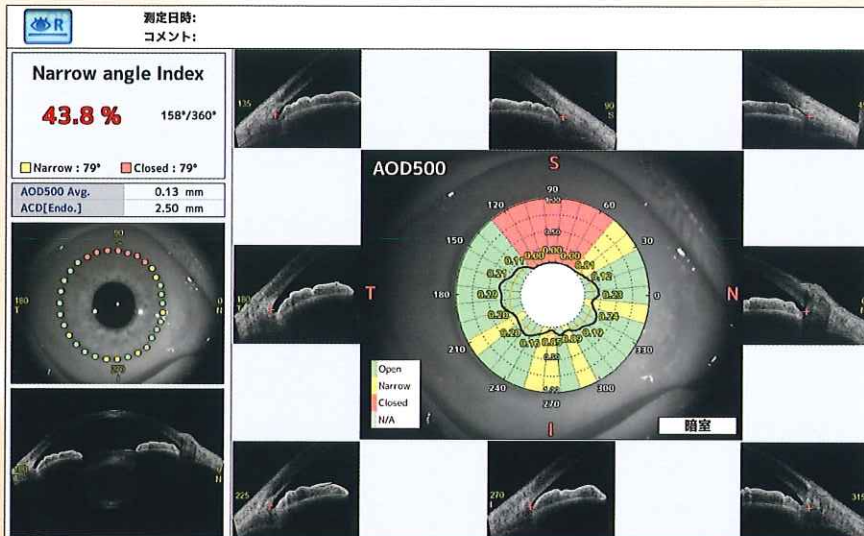
CASIA2 Advance に新しい緑内障向けアプリケーションが誕生。

撮影した隅角の開大度を自動解析。解析結果から狭隅角のリスクの高さを示します。

撮影したデータの各断層像の隅角にある強膜岬 (SS) を自動同定。これを基点とする AOD500 (Angle opening distance) により、隅角の開大度をチャートで表示します。

閉塞隅角症例

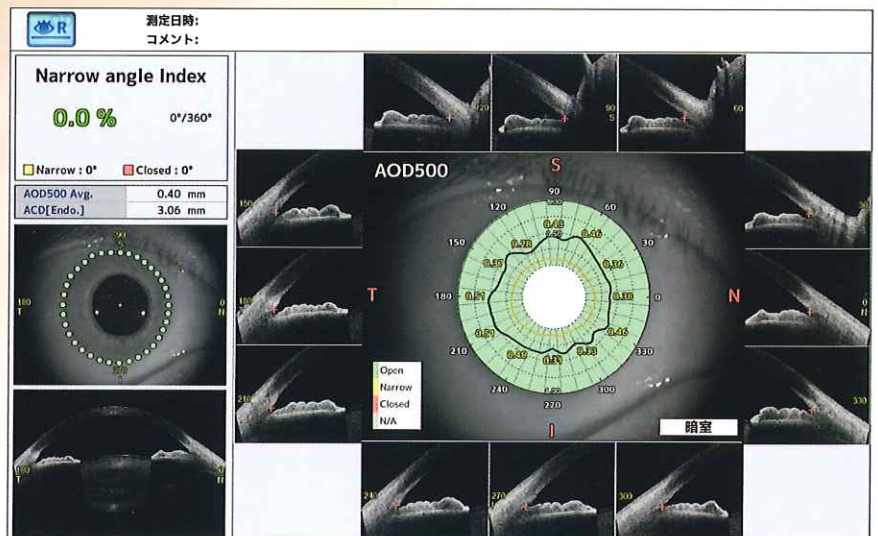
症例・所見ご提供：東京大学医学部附属病院 坂田 礼先生



前房は浅め、van Herick 法では grade2。Narrow angle index は 43.8% (赤色) で閉塞隅角眼を示唆している。上方隅角はかなり狭く、AOD500 が 0 の部位が 45 度に渡って認められている。機能的癒着の可能性もゼロではないが、隅角鏡検査の結果と合わせると、おそらくこの部位は器質的な癒着の可能性が高いと思われた。

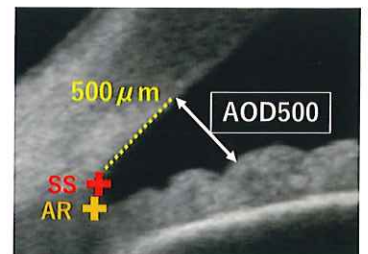
開放隅角症例

所見ご提供：東京大学医学部附属病院 坂田 礼先生



チャートは緑色の一色で、Narrow Angle Index も 0.0%と全周の隅角が開放していることを示している。

設定されている AOD500 の閾値より被検眼の AOD500 が小さい狭隅角には黄色が付き、虹彩前面と線維柱帯が接触している部分には赤が付きます。さらに、狭隅角や閉塞隅角の比率を Narrow angle index で表示し、設定値を超えた場合、数値が赤色となり、被検眼が狭隅角眼であるリスクが高いことを示します。日常診療における隅角評価において、強力なサポートツールになることが期待できます。



AOD500 ※SS: 強膜岬 AR: 隅角底

※仕様・外觀等は、予告なしに変更する場合があります。

製造販売業者

株式会社 トーメーコーポレーション

〒451-0051 名古屋市西区則武新町二丁目11番33号

TEL (052) 581-5321 FAX (052) 581-5626

URL <http://www.tomey.co.jp>

ご用命は